

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和2年12月9日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
1	<p>DAITO COMICS BLシリーズ 愛欲調教</p> <p>令和2年12月5日発行</p>	<p>薬や道具などを使用して陵辱する行為はNG。構成要件として、どの程度の体液描写があると条例に抵触するか判然としないが、多いように思われる。指定該当</p> <p>修整はされているとは思いますが、全体的に性描写が多く指定やむなし。</p> <p>題名の「調教」からもわかる様に、強制的な性行為が延々と続き、卑わい度は高い。また拘束した状態での器具の使用等もあり、モラルの問題もある。性器部分の修整はされているものの、擬音、体液描写も卑わい感を強調している。指定該当</p> <p>性器は白抜きで修整されているが形が分かり、大きく表現されている所も多い。また薬を使用して拒否する相手を縛り、器具を使用する表現となっていることを考えると指定該当にあたる。帯下にも「アダルトな表現を含み、18歳以上」と書いてもある。指定該当</p> <p>題字にも「調教」とある通り、一方的強制的なセックス描写である。ほぼ二人だけの関係で卑わい感あまり感じられないが、性交時の快楽の描写や体液、擬音も激しく感じる。また器具の使用、体の拘束、性器の形状もわかる部分もある。青少年がこれを見て欲望が大きくなるとは思えないが、やはり大人向きである。指定該当</p> <p>性器は白抜きで修整されているが、体液描写によって形状を浮かび上がらせるコマが多い。薬、道具を用いたセックスを繰り返し描くことにより、人格をもてあそび、やがて人格が変わってしまう暴力を肯定する物語となっている。成人向き。指定該当</p> <p>タイトルに「調教」とあり目につきやすい。前半は薬物の使用、拘束、本人の意思に反する性行為など人格否定要素が見受けられる。後半には、擬音、精液描写が激しい性行為の描写が多い。性器は輪郭がわかるものもあるが、角度をつけたり、引きの絵でわかりづらくするなど配慮がうかがえる部分もある。全編大部分とは言い難いが、指定該当やむなし。</p> <p>成人向けであることを明確にして販売された方がよい。淡白な絵柄、性器の修整によって卑わいさ少ない。体液描写、器具の使用、強制性交を思わせる台詞があるが、一種の性的嗜好の表現ととられる範疇と考えられる。以上から青少年に悪影響を及ぼすとは考えにくいだが、帯の文言に出版社自ら「18歳以上の方に推奨」と明記しており、成人向けの内容と判断せざるを得ない。指定該当</p> <p>人間関係の微妙なもつれを利用して性的欲求の対象に仕上げていくというストーリーは巧みで、よく出来ている。薬物や道具の使用、心理操作的側面は問題を感じるが、描写は露骨とは思えない。根本において人格否定的なところがあるが、露骨ではない。保留</p> <p>全体的にストーリーがしっかりしていて、画力もあり読みごたえのある作品。性器の消しはしっかりされている。ただ、帯にも「アダルトな表現を含む」と断り書きがある通り、卑わいな描写がたびたび見られる。タイトル通り「調教」シーンも器具や薬の使用もあり強引な感じを受ける。保留</p> <p>白くぼかす形で確実に修整は加えられている。ストーリーは、調教という名のもと後輩に薬で眠らされ、支配的な性行為を受け、眠っていた欲望が表面化するという内容。本人の意思に反した性行為に始まっていることは否めないが、現実味に乏しく著しく卑わい感を与えるというのには該当しないと判断する。体液描写は多い印象を受ける。保留</p> <p>非常に実力のある作家で、物語の構成もしっかりしている。一部、強制と思われるシーンもあるが、人格否定とまではいえない。ただし、器具の危険な使用や、性器の修整の甘さ、薬物の使用などを考慮すると、本来であれば区分陳列はやむをえないと考える。ただ、帯に「18歳以上の方に推奨」と自主的ゾーニングをしているように読めた。この文章がゾーニングに一定の効果が期待できると考えるが、全く効果がないととらえるのか議論が必要。保留</p> <p>性器の修整はしっかりしているが、後半は形がわかってしまう。また、拘束や薬物使用、乳首に注射針を刺す危険な行為がある。これが性的感情に結びつかかわからないが、ある種の人格否定、レイプである。外形的にはレイプをして気持ちいいから免罪という、典型的な正当化。ただ、卑わい感さはほどでもない。保留</p> <p>絵柄はキレイでさわやかな印象。卑わい感を感じられない。ストーリー構成もしっかりしており物語作家としての誠実さを感じられる。性器の消しもほぼ完全になされている。しかし、薬物によって自由を奪い、監禁と暴力によって精神と肉体の自由をコントロールする展開は人格の否定と言わざるを得ず、青少年向け作品とはとらえ難く、指定該当とせざるを得ない。しかし、「自主的ゾーニング」という問題は考慮するに値する。保留</p> <p>器具の使用は気になるが、全編大部分という程の卑わいな描写ではない。修整も配慮が見られるので許容範囲。指定非該当</p>